

令和2年度 森林環境譲与税の使途内訳

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績	税導入の効果
			うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	うち他の財源（千円）			
瀬戸内町	意向調査の準備作業	森林環境譲与税事業	643	835	ドローンを活用した森林調査用システムの導入	森林の現況調査実施面積（10ha）	・本町の人工林率は1.6%となっており、スギ・ヒノキの占める割合は極めて低い状況であることから、本税を活用し有用樹種の選定及び利用促進・林業振興の発展に寄与することとして取り組んでいる。
瀬戸内町	森林・林業・木材普及活動等	森林環境譲与税事業	93		防潮保安林の植栽を実施することにより、町民に対して森林の役割りについて学習する場を提供する	参加者数 33名 植栽面積 130㎡	・町内の幼稚園や地域住民を対象とした植樹体験活動を行った。 オオハマボウやイスノキ等40本を植栽し防潮林の更新を図ることができ、森林の持つ多面的機能について学習の場を提供できた。
瀬戸内町	森林・林業・木材普及活動等	森林環境譲与税事業	992		既存木製品の補修・設置をすることで木材普及活動を行う	木材使用量 2.21㎡	・老朽化した看板を修繕することで、木材普及につなげた。
瀬戸内町	森林・林業・木材普及活動等	森林環境譲与税事業	1,298		小中学生を対象とした木工体験学習（集落名木製看板）を実施。制作した看板を設置することで木材普及活動を行う	木材使用量 2.08㎡	・児童、職員及び保護者総勢70人を対象に奄美産材クスノキを使用した木製看板製作（14枚）を実施した。 地球温暖化対策としての森林学習や木材利用の促進につなげることができた。
瀬戸内町	基金積立（木材利用等）	森林環境譲与税事業	1,046		老朽化した学校施設の床板張替等、修繕に充てるための積み立て		